

# 平成27年度関東森林管理局森林・技術等交流発表会 を開催

## 森林整備部 技術普及課

関東森林管理局では、2月18日・19日の両日、関東森林管理局大会議室において、第60回目となる森林・林業技術等交流発表会を開催しました。

本発表会は、各地域の試行的な取組によって得られた新たな技術や研究成果等を、多くの関係者が共有することにより、国有林野の管理経営や民有林における技術の普及・定着に資するとともに、地域林業の再生に寄与することを目的として、毎年開催しているものです。

員のみならず、県や研究機関の職員、森林ボランティア団体、林業を学ぶ大学生・高校生等から、25課題の発表がありました。



挨拶する漆原局長

審査員には国立研究開発法人森林総合研究所の吉丸研究専門員（審査員長）、宇都宮大学の谷本名誉教授、栃木県林業振興協会の福田女性部会顧問をお迎えし、今年も国有林野職



質問する吉丸審査員長

また、赤谷森林ふれあい推進センターが取り組んでいる赤谷プロジェクトについて、藤澤所長から「地域とつながる国有林く赤谷プロジェクトの取組から考える」と題して特別発表が行われました。



藤澤所長の特別発表

2日目の午後には、森林総合研究所育成林施業担当チーム長の宇都木玄氏による「低コスト再造林にむけて」と題した特別講演が行われ、活発な質問に来場者のコンテナ苗等に関する関心の高さが伺えました。



特別講演（宇都木玄氏）

特別講演後、吉丸審査員長から講評があり、日常の業務や学業等で多忙の傍ら、諸課題に対して、情熱を持って、積極的に取り組まれ、得られた成果をまとめ上げたすばらしい発表が多かったと高い評価をいただきました。

審査の結果、最優秀賞1課題、優秀賞8課題が選ばれましたが、特筆されるのは、最優秀賞に、群馬県立勢多農林高等学校植物バイオ研究部の皆さん、優秀賞に、静岡県立農林大学校杉山彩音さん、群馬県立農林大学校鉾田智洋さん、と学生の皆さんの発表が選ばれたことです。

参加者は、2日間でのべ472人と、盛会のうちに終了することができました。



会場

今回発表いただいた皆様及び関係者の皆様に御礼申しあげるとともに、今後も、本発表会を通じ、林業に携わる方々、また、一般の方にも森林・林業への関心が深まることを期待し、新たな技術の開発や研究成果の普及に努めてまいります。



勢多農林高等学校の発表